

研究結果報告書

所属 遼寧大学日本研究所

役職 専任講師

氏名 周 致宏

研究結果

2021年3月採用して以来、同研究の一環として、内村鑑三、南原繁、池田大作、丸山真男、鶴見俊輔、小田実、山川均、安部磯雄、鈴木安蔵等の諸氏らが著作した論文集、出版物の購入、調査、収集を行なうと当時、中国国内の学者らが発行した関連論文、論文集、著作も十分に調査収集をしていた。

昨年の新型コロナウイルスの流行のせいで、日本への渡航が不能となったため、メールで日本広島市立大学平和研究所、東洋大学社会科学研究所、創価大学、国際日本文化研究センター（京都）、京都大学社会科学研究所の諸先生のご教示を承り、そして、在日の親友、中国人留学生、友人を通じ、上記の関連著作、論文並びに論文集の一部複写（著作権の制限）、図書購入を依頼していた。これに基づき、戦前期と戦後における日本の平和主義思想の沿革史をまとめて、一連の研究活動を行った。

このうち、勤務している遼寧大学日本研究所の毎週水曜日の恒例研究会にて、四回の発表を行い、そして、昨年11月28日、同学歴史学部が主催した「近代日本の政治と運動：インテリらが思考した日本近代像」研究会に出席し、基調報告を行っていた。

また、昨年12月9日、瀋陽郊外にあるホテルの会議室を賃貸し（新型コロナウイルスのため大学の出入りが制限されていたため）、研究チームの院生と教員らが集まり、まとめた近代日本平和主義思想という題目の初稿大綱について議論してもらった。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

(1) 2021年6月16日、日本研究所定期研究会にて「戦前期における日本平和主義思想家とその平和主義の主張」

(2) 2021年9月8日、日本研究所定期研究会にて「池田大作の平和主義思想と基本内容」

(3) 2021年11月17日、日本研究所定期研究会にて「戦後日本平和主義運動と憲法九条」

(4) 2021年12月8日、日本研究所定期研究会にて「冷戦後における日本平和主義思想の基本主張と影響力：日本市民運動中の平和主義」

(5) 2021年11月28日、遼寧大学歴史学部が主催した「近代日本の政治と運動：インテリらが思考した日本近代像」シンポジウムにて、「戦後における日本平和主義思想とその運動との関連性」という報告を行った。

(6) 2021年12月19日、瀋陽方特花園酒店にて「戦後日本平和運動とその思想」研究会が開催し、学者及び院生ら15名前後出席した。

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)